

# 一般質問 第1回定例会 区政をただす

## 執行段階への住民参加で 区民との真の協働を

自由民主党議員団 市川 みゆる

行政サービスの質的・量的変化に対応するため、費用負担や提供方法の見直しを従来の発想にとらわれずに行うべきだ。住民参加は、これまで計画策定段階など政策形成過程への参加や行事への参加が中心だったが、今後は、事業の執行段階への参加が不可欠ではないか。区民参加の多様なチャンネルの一つとして、IT(情報技術)を活用した「パブリックコメント制度」を導入できないか。

**区 長** 行財政5か年計画では、区と区民、民間の役割をふまえ、区民との協働の発展を目指している。従来行政の役割としてきた部分でも、民間や住民自身が担える部分があると思つので、住民参加をそうした点でも進めたい。これまでも計画案の段階で公表し、区民意見の区政への反映に努めてきた。「パブリックコメント制度」については、今後検討する。

**区 長** 行財政の十分な説明を  
行財政改革への取り組み  
2年目となる14年度予算の説

をとりやめ、基金利子相当分を補助金にした。産業経済融資や住宅資金等融資にかかわる預託金は、14年度は普通預金とし、15年度以降は預託制度を廃止し、利率と調整する。



公金を管理する収入役室

## 厳しさを増す区民の暮らしを 区長は受け止めよ

日本共産党議員団 昆 まさ子

区長は、国民の生活を混乱させ破綻に追い込む政府・与党の政治への批判なしに、所信表明で、ただ区民生活の大変さを言うだけでは無責任ではないか。区民の生活実態と相いれない区政運営を進めている区長は、区民の声をどう受け止めているのか。

**区 長** 政治批判をする前に、地域住民の生活をどうとらえ、政治で何を解決するかにつなげなければならぬ。区民と接した実感を所信表明で率直に申し上げた。区民に必要なサービスを提供し、区民の期待にこたえていく。

区長への批判の高まりを認識しているか  
区長は、4年前に掲げた基本姿勢を崩し、平然と公約を破っている、



南部区民ホール建設予定地

には官僚の問題はない。将来に向け安定的な行財政基盤をつくるため行財政5か年計画を進め、基本的な区民サービスを確保し、新たな課題にも取り組んでいる。今後も区民の理解を得る努力を続けたい。特別区交付金の調整率が不十分であることの認識は

新年度当初予算案の一般会計歳入で同交付金が減少した。都区制度改革で、都側の圧力に屈し、区の財源として十分な低い調整率に決めた区長の責任をどう考えるか。  
**区 長** 調整率の具体的な検討を進めることを、都区間で確認した。事務量増大の場合、積極的に都へ協議を求め、施設建設整備計画見直しに区民意見を生かすべきでは

## 江古田の森整備には 基本構想が不可欠である

公明党議員団 こしみず 敏明



バリアフリーに配慮したノンステップバス

介護老人保健施設の先行整備のため分割取得するはずだった江古田の森の用地は、一括取得に変えたのか。旧厚生省との契約で定めた、土地開発公社から平成15年3月31日までに引き取る期限を、延伸する必要はないか。導入を検討しているPFI(民間資金による社会資本整備)は効果的な整備手法だが、まず基本構想を策定してから手法を選ぶべきではないか。  
**区 長** 検討の過程で、PFI導入による総合的な整備の可能性が出てきた。起債などの見直しがあれば、用地問題は解決できる。その上で期限の変更を申請する。基

本構想をまとめ、基本計画やスケジュールを決めたい。  
PFI凍結解除には  
ペイオフ凍結解除を控え、公金管理のあり方をどう検討したか。保管運用を目的とし、区に納金金は、別途国に保護を求めるときでは、

区 長 公金保護策や金融機関の経営状況把握を検討するため、専門家の助言を受け資料収集や課題を整理した。収納代理金融機関が保管中の収納金や金融機関の経営状況を、区が把握するのは困難だ。区長会としても、国に適切な法整備を求める考えだ。  
区 長 バリアフリー実態調査を踏まえて検討したい。調査対象は、駅から半径50メートルで、対象外については今後の課題としたい。満足度の高い図書館運営を

区 長 公金保護策や金融機関の経営状況把握を検討するため、専門家の助言を受け資料収集や課題を整理した。収納代理金融機関が保管中の収納金や金融機関の経営状況を、区が把握するのは困難だ。区長会としても、国に適切な法整備を求める考えだ。  
区 長 バリアフリー実態調査を踏まえて検討したい。調査対象は、駅から半径50メートルで、対象外については今後の課題としたい。満足度の高い図書館運営を

## 4期16年の区政運営の 総括をせよ

市民自治フォーラム 佐藤 ひろこ



女性会館での研修会

教育委員の準公選廃止など、神山区政16年で区民参加は後退したという声があるが、どう評価しているか。この間に財政基盤が悪化してしまつたが、財政運営についてどのように評価しているのか。職員が士気が低下しているといわれているが、人材を生かす組織をつくること、区民サービスを高めるためにも、必要である。どのような人事政策を考えているか。  
**区 長** 住区協議会と地域センター構想を一層進めるとともに、あらゆる分野で区

民参加のもとに区政運営を行ってきた。景気の長期低迷や国の減税政策の影響で、区税や特別区交付金などが減少したこと、国や都の補助金の一般財源化など、不利な制度改正があったことなどの要因